

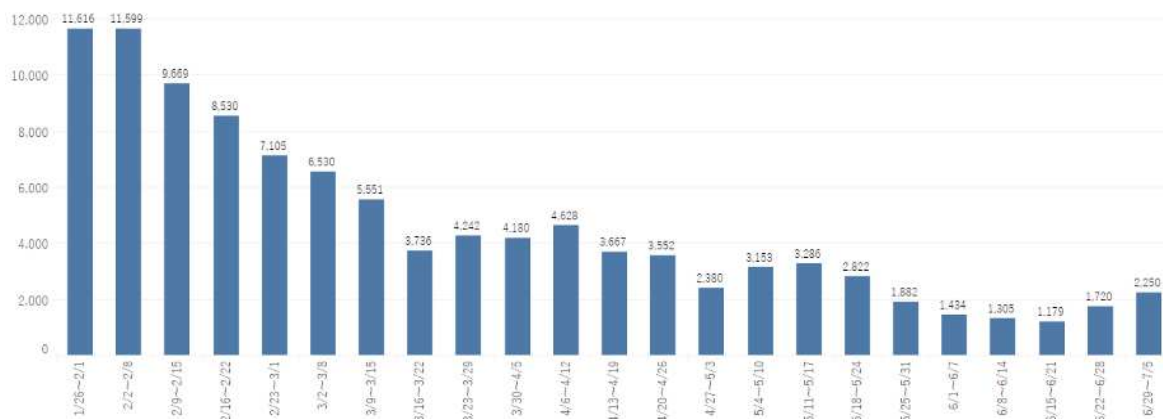
□ 直近1週間の新規感染者の推移

●直近の状況（発表日ベース）

7/4 ~ 850人 前週の同日比（累計） +363人 +75%

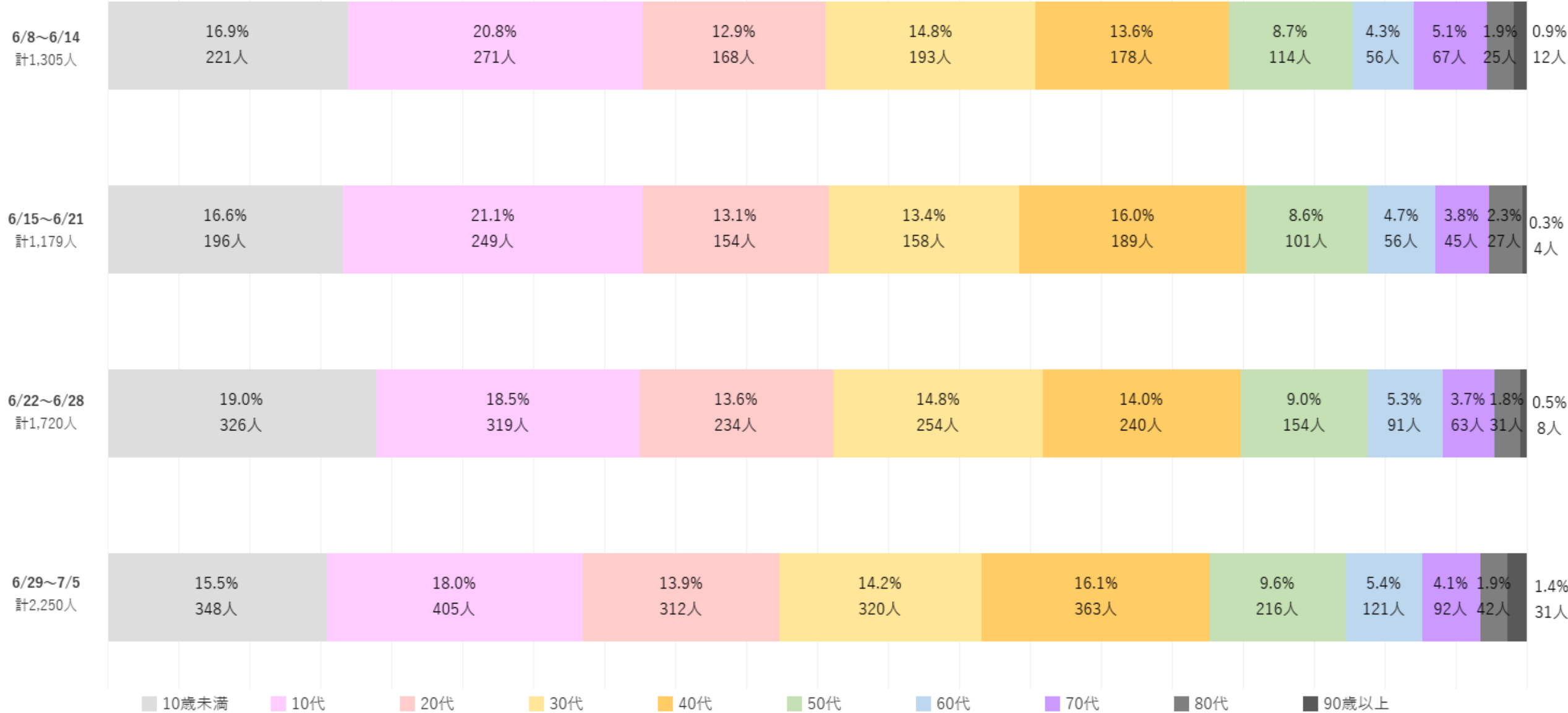
	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	7/4~7/10	7/4	7/5	7/6	7/7	7/8	7/9	7/10
	感染者数	133	717					
	累計/週	133	850					
	先週比（累計）	+24	+363					
	先週比（%）	+22%	+75%					
先週	6/27~7/3	6/27	6/28	6/29	6/30	7/1	7/2	7/3
	感染者数	109	378	327	334	382	359	331
	累計/週	109	487	814	1148	1530	1889	2220
先々週	6/20~6/26	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26
	感染者数	74	245	202	244	225	220	197
	累計/週	74	319	521	765	990	1210	

(参考) 感染者数の推移（確定日ベース）

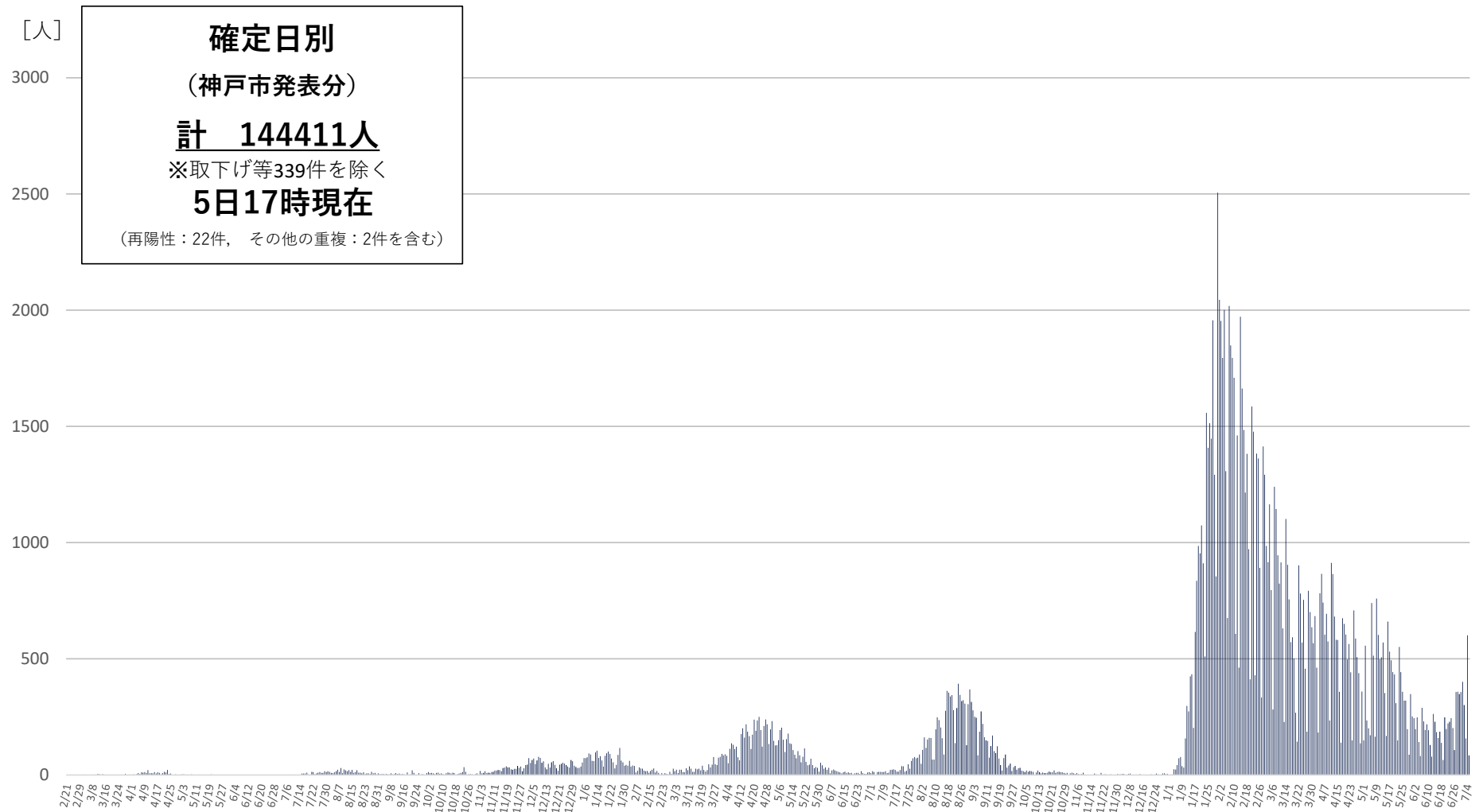


※再陽性等を含む

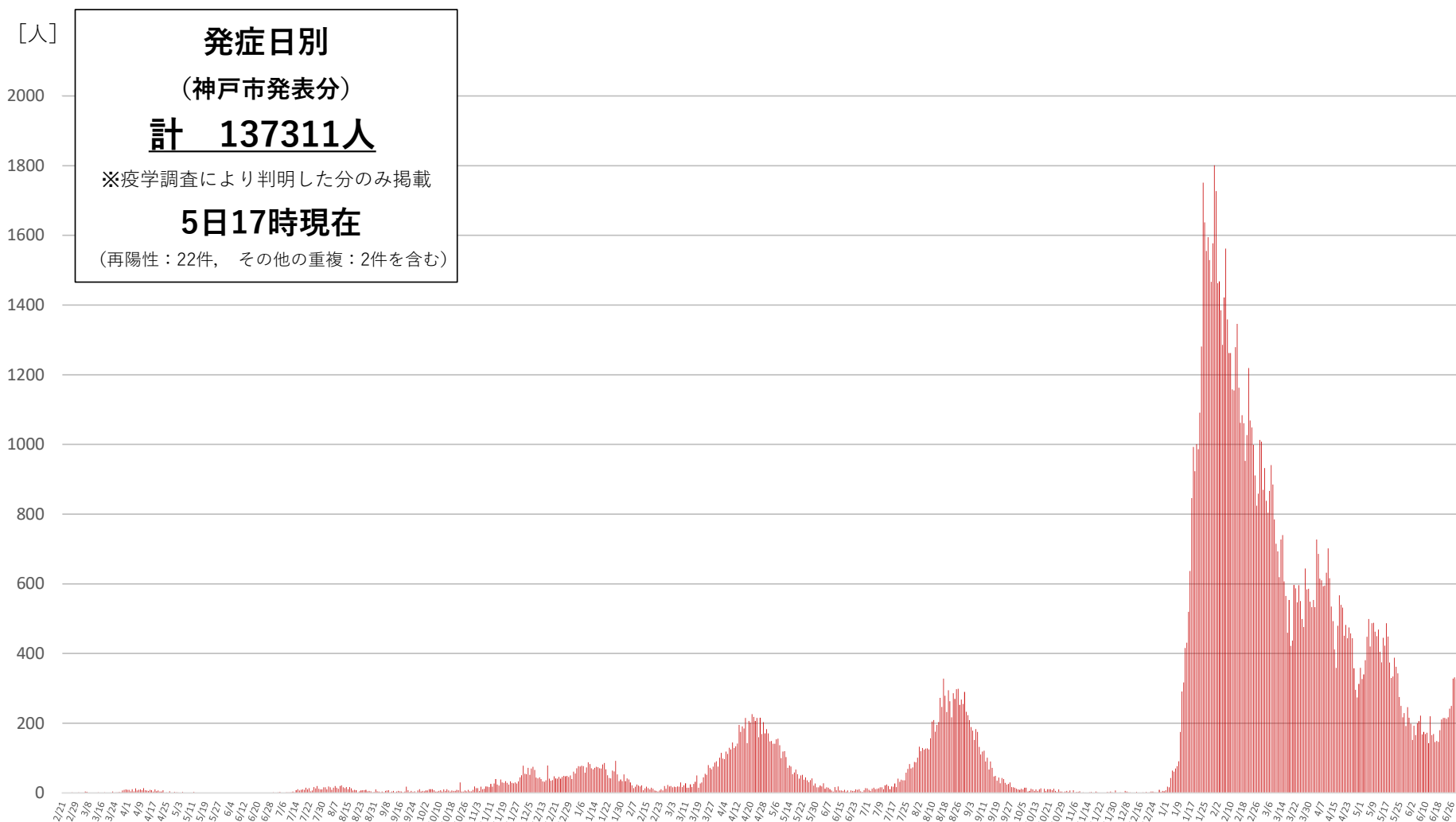
直近4週間の感染者 年代別動向



市内の感染者発生状況（確定日別）



市内の感染者発生状況（発症日別）



入院・入所等の状況（7月5日17時時点）

【病床使用率】 33.8%（121床/358床）
【重症病床使用率】 13.3%（6床/45床）
（うち重症者） 2.2%（1床/45床）

【宿泊療養施設】 入所率 22.5%（133室/592室）

施設名	入所状況
ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟 （令和2年4月1日～）	18/20室 90.0%
東横INN神戸三ノ宮駅市役所前 （令和2年8月19日～令和4年8月初旬閉鎖予定）	30/110室 27.3%
ホテルサンルートソプラ神戸アネッサ （令和3年8月20日～）	28/138室 20.3%
ポートタワーホテル （令和3年9月18日～）	29/148室 19.6%
ホテルサンルートソプラ神戸 （令和4年1月21日～）	28/176室 15.9%

（市外在住者含む）

【自宅療養者】 2,397名
【療養先調整中】 520名

福祉環境委員会
(健康局)
令和4年6月21日

新型コロナウイルス感染症対策について

1 患者発生状況

(1) 患者数 (感染者累計: 140,011 件) (6月20日時点)

※過去最多: 令和4年2月3日 2,351人

●直近の状況 (発表日ベース)

6/20 ~ 74人 前週の同日比 (累計) -3人 -4%

	期間	月	火	水	木	金	土	日
今週	6/20~6/26	6/20	6/21	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26
	感染者数	74						
	累計/週	74						
	先週比 (累計)	-3						
	先週比 (%)	-4%						
先週	6/13~6/19	6/13	6/14	6/15	6/16	6/17	6/18	6/19
	感染者数	77	271	237	181	150	182	141
	累計/週	77	348	585	766	916	1098	1239
先々週	6/6~6/12	6/6	6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12
	感染者数	95	266	259	204	208	177	132
	累計/週	95	361	620	824	1032	1209	1341

期間別の感染状況



・直近の陽性件数の状況は、2月3日の2,351件をピークに減少傾向にある。

(2) 入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

入院・入所・自宅療養者数の直近の比較

	直近の状況 第6波(R4.1~)			【参考】過去の入院・入所患者ピーク				
				第5波 (R3.7~R3.12)	第4波 (R3.3~6)	第3波 (R2.9~R3.2)	第2波 (R2.6~9)	第1波 (R2.3~5)
	6/19	6/12	差	9/2	5/15	12/9	8/23	4/25
入院・入所患者	100人	133人	-33	532人	429人	304人	96人	140人
入院患者数	52人	80人	-28	284人	276人	170人	72人	106人
（うち重症）	(4人)	(1人)	+3	(18人)	(23人)	(11人)	(8人)	(9人)
宿泊療養施設入所患者	48人	53人	-5	248人	153人	134人	24人	34人
自宅療養者	1368人	1488人	-120	936人	288人	—	—	—
療養先調整中	235人	243人	-8	1165人	1509人	254人	36人	—

(市内在住者の数字)

※市内在住者の数字

①入院の状況

6月19日現在で病床使用率は15.9%(57/358床)、

重症患者病床使用率22.2%(10床/45床)、うち重症者8.9%(4/45床)

②宿泊療養施設の状況

施設名	入所状況
	(6/19時点)
ニチイ神戸 ポートアイランドセンター宿泊棟 令和2年4月11日~	9/20室 45%
東横INN 神戸三ノ宮駅市役所前 令和2年8月19日~ 令和4年8月初旬閉鎖予定	8/110室 7%
ホテルサンルートソプラ 神戸アネッサ 令和3年8月20日~	11/138室 8%
ポートタワーホテル 令和3年9月18日~	13/148室 9%
ホテルサンルートソプラ神戸 令和4年1月21日~	12/176室 7%

(市外在住者を含む)

(市外在住者を含む)

53/592室（5施設合計）
9%（6月19日時点）

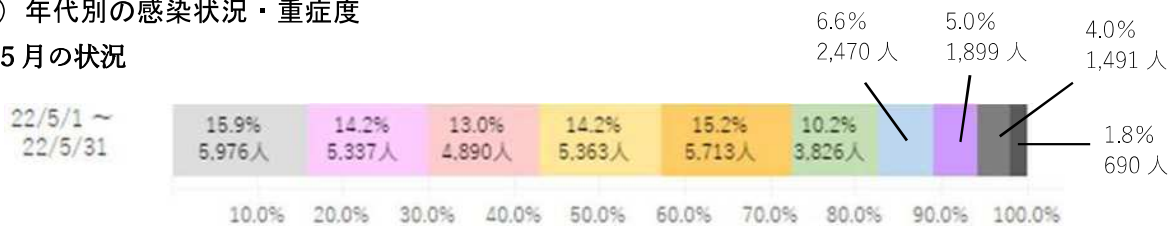
※東横 INN 神戸三ノ宮 I（88室）については、6月10日をもって閉鎖

※東横 INN 神戸三ノ宮駅市役所前（110室）については、8月初旬をもって閉鎖（予定）

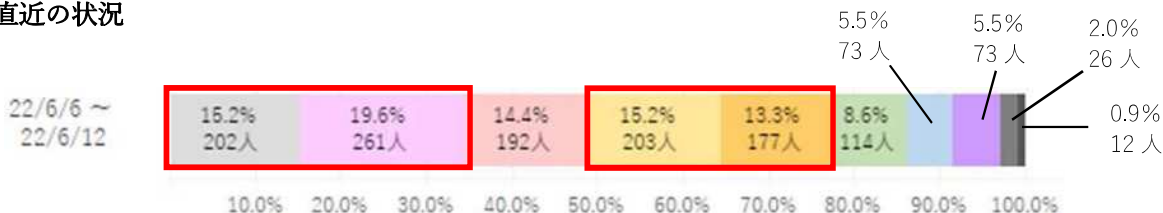
※ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟においては、酸素投与が必要な要介護者等の受け入れ施設として室数を100室から20室程度に変更して活用（令和4年2月5日~）

(4) 年代別の感染状況・重症度

▼5月の状況



▼直近の状況



<凡例>



- ・直近の状況は、10代以下の新規感染者数の割合が35%、30・40代が29%となっており、学校・保育施設でのクラスターの発生及びそれに伴う家庭内感染の影響が考えられる。

(5) クラスターの発生状況

- ・クラスターの発生状況としては、6月19日現在、累計で1,244件。
また、第6波でのクラスターの発生件数は986件。

	件数							人数	
	第1波 3/3~5/20	第2波 6/23~9/23	第3波 9/25~2/28	第4波 3/1~6/30	第5波 7/1~12/31	第6波 1/1~	件数合計	人数	割合
保育所・学校	1	3	10	25	35	731	805	14190	64.8%
高齢・障害福祉施設	1	2	18	48	12	185	266	4398	20.1%
病院	2	1	14	16	6	56	95	2535	11.6%
公的機関	2	0	2	1	2	9	16	141	0.6%
民間事業所	0	0	5	11	23	5	44	475	2.2%
酒類提供飲食店	0	2	5	2	4	0	13	120	0.5%
スポーツ・娯楽施設	0	0	4	1	0	0	5	44	0.2%
合計	6	8	58	104	82	986	1244	21,903	100%

2 第6波での対応

(1) 病床の確保

- ・兵庫県の医療提供体制にかかるフェーズが「フェーズⅤ感染拡大特別期」から「フェーズⅢ感染拡大期1」へ移行したことに伴い、公的病院の病床減床などにより6月1日から398床→358床（うち重症病床53→45床）に変更。
- ・病床ひっ迫時には、再度、公的病院で臨時的に病床を拡大するとともに、市民病院において通常医療を制限し、最大439床（うち重症病床53床）を確保する。

(2) 外来医療への対応

①検査キット等でコロナ陽性の結果となった場合の保健所での診断実施

新型コロナウイルス感染症検査キット等で陽性の結果となった場合は、これまでの医療機関受診による確定診断に加えて、条件を満たす場合※には神戸市保健所においても確定診断を実施。

※薬事承認されている検査キット等で検査をし、陽性判定となった神戸市居住者のうち、症状が軽く重症化リスクの低い方。

②疑似症診断の実施

同居家族などの感染者の濃厚接触者が有症状となった場合には、医師の判断により検査を行わなくとも、臨床症状で診断を実施。

(3) 早期対応による重症化防止

①自宅療養者への早期対応体制の確保

- ・自宅療養フォローアップセンターの設置
- ・外来受入医療機関の確保

外来受入医療機関数：22医療機関（6月7日時点）

外来受入実績：令和4年度231件（5月31日時点）

- ・日中の電話診療、往診の実施に加え、夜間・休日での電話・オンライン診療、往診の実施。

令和4年度実績（6月15日時点）：電話診療：103件 オンライン診療：8件 往診：97件

②宿泊療養施設の強化（2月5日～）

ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟を、酸素投与が必要な要介護者等を一時的に受け入れ対処する施設として活用（20名程度）。

3 第7波への備え

(1) 積極的疫学調査・濃厚接触者検査の再開

新規感染者数が一定数以下（患者が200人/日以下（週平均））となったため、第7波の流行を早期に把握（サーベイランス）し、これまでと違う症状やその重篤性、感染の広がりを早期に捉え、新たな変異株の流行を探知するため、6月28日より、積極的疫学調査を強化するとともに、濃厚接触者への検査を再開する。

① 積極的疫学調査

- ・患者調査、濃厚接触者調査
全数調査対応を再開

【7月6日追記】

新規感染者数が神戸市内、また全国的にも増加傾向にあることから、今後の状況を見るために再開を延期

- ・所属、職場調査
高年齢・障害施設に加え、保育所・学校園等での調査を再開
(その他の施設・事業所は相談対応)

② 濃厚接触者への検査

- 無症状者を含め、PCR検査を実施
- ※濃厚接触者が有症状になった場合は、かかりつけ医への受診を勧奨
- 無症状者は、PCR検査を再開 (e-KOBEでの申し込み)

(2) 高齢者施設等への対応強化

重症化リスクの高い高齢者等について、以下のとおり、対応を強化する。

① 定期的検査・積極的検査

・定期的検査

高齢者施設等職員には4回目のワクチン接種がされないこととなったため、時間の経過とともに職員の感染防止力は低下し、感染のリスクが高まることが予想される。高齢者施設等で職員経由の感染拡大を防ぐため、職員への定期検査を9月まで延長する。

現在、流行の主流となっているオミクロン株は潜伏期間が短く、感染速度が速い特徴がある。現在は週1回のプール検査(PCR検査)を実施しているが、結果が判明するまで4日以上かかる時間がかり、オミクロン株の特性を考えると、陽性だった場合その間に感染が拡大してクラスターが発生する恐れもある。

そのため、プール検査(PCR検査)に比べ精度は落ちるが、結果がその場で出る抗原定性検査に変更し、より頻回(週2回)に実施することで陽性者を早期に発見し、クラスター発生を防止する(7月中旬予定)。

※プール検査(PCR検査): 週1回 → 抗原定性検査: 週2回

・積極的検査

重症化リスクの高い高齢者、障害児・者施設において陽性患者が発生した場合に、疫学調査による濃厚接触者の有無にかかわらず、念のためにフロア全員に対し行う積極的検査については、引き続き実施。

※保育所・学校園等への積極的検査について

保育所・学校園等については、第6波以前は、新規患者発生によるクラス全体の検査を実施してきたが、検査結果が出るまで4日間程度かかるため、その間、多くの幼児・児童生徒が通園・通学できず、保護者の就労も困難となるなど、社会に与える影響が大きかった。

今後は、重症化リスクの低いオミクロン株の特性も踏まえ、保育所・学校園等の積極的検査は再開せず、感染者が発生した場合、積極的疫学調査を行い、濃厚接触者等を特定することで、通園・通学できない幼児・児童生徒を最小限におさえ、社会経済活動への影響ができる限り起こらないように配慮しながら感染拡大防止を図ることとする。

② 要介護者の療養体制の強化

○高齢者施設等への医療提供体制の強化

・感染制御・業務支援チームの派遣

第6波における入所施設への派遣: 82件(6月17日時点)

・施設内での経口薬等による治療の早期実施

(実績)

・内服薬処方医療機関: 318か所(3月5日) → 485か所(5月21日時点)

・高齢者施設(老健・特養)の嘱託医等の処方医療機関登録: 172か所(98%)登録
(5月7日時点)

・地域の医療機関との連携による往診体制の構築

○要介護者の入院受入体制等の強化

・要介護者の入院受入支援金の創設

入院が必要となった要介護者を受け入れる医療機関に対する支援金（同時期に要介護者を複数名受入等で、1施設：最大300万円）を新設（令和4年4月1日～）。

登録医療機関が増加し、医療機関の体制も強化されたことにより、要介護3以上の患者の受入れ先の選択肢が増え、入院待機期間の減少につながった。

（実績）

・登録医療機関数：30病院中27病院（6月17日時点）

・支援制度開始前の受入実績

16病院（うち同期間に複数名の受入実績あり3病院）

・支援制度開始後の受入実績（6月17日時点）

事前登録済27病院中24病院（うち、同期間に複数名の受入実績あり19病院）

さらに、コロナから回復した要介護者は、引き続き入院管理が必要となる場合が多いため、病院間で円滑に転院調整を行っていただけるよう、回復後の要介護者の転院受け入れが可能な医療機関40病院（6月17日時点）をリスト化し、コロナ患者受入医療機関に共有し、転院を促進している。

・宿泊療養施設の更なる強化

施設入所等要介護者の緊急入院が必要となった場合で、休日・夜間など入院調整に時間を要する場合等に、入院するまでの間の一時的に対処する機能を強化するため、ニチイ神戸ポートアイランドセンター宿泊棟の入所定員を20名程度から30名程度に拡大予定（病床使用率が60%になれば準備を開始し、体制が整い次第運用を開始）。

	現状	強化後
定員	20名程度	30名程度
定員内訳	要介護者：8名程度 重症化リスクの高い患者： 12名程度	要介護者：20名程度 重症化リスクの高い患者： 10名程度
1日の最大受入	2名	5名

4 後遺症対策

（1）後遺症実態調査の概要とその結果

①概要

後遺症の症状に関する現状把握を行い、今後の後遺症対策に活用するため、12月～1月に、第4波の感染者（主にアルファ株）のうち4,276人（回答者：1,621人）に対し、後遺症の実態調査を実施。（オミクロン株による急激な感染拡大を踏まえ、令和4年秋に再度、後遺症実態調査を実施予定。）

②調査結果

- ・回答者の約5割が後遺症に悩んでいる。
- ・後遺症の症状がある方のうち、半数以上が「だるさ（倦怠感）」を挙げられている。
また、後遺症の症状が治まるまでの期間について、半年を経過しても、4割を超える方が筋力低下の症状が続いており、約3割の方が、だるさと息苦しきの症状が続いている。
- ・療養後の生活で困ったこと・心配だったことは、回答者の3割以上が①体調面・健康面、

②家族への感染を挙げている。

(2) 主な対策

①後遺症相談ダイヤルの設置

後遺症に関する悩みを抱えている方への相談窓口として開設。(令和3年11月1日～)

【相談実績】

月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 (~6/10)	総数
件数(件)	133	87	219	551	509	319	294	68	2180
内)後遺症(件)	47	64	78	351	348	224	206	52	1370
内)後遺症以外(件)	86	23	141	200	161	95	88	16	810

【医療機関】

後遺症診察対応医療機関数：198 機関

②アフターコロナ健診(6月20日より受付開始)

コロナ罹患後患者が受診できる健康診査の受診機会を提供。

(身体計測、血圧測定、尿検査、血液検査、結核健診を実施。)

③ 後遺症リハビリ

・健康リスク改善事業(6月20日より受付開始)

健康ライフプラザで6か月間、計3回の体力測定のほか、週1回までの運動指導やスポーツジムエリアの利用

・セルフリハビリプログラム(7月公表予定)

筋力低下対策動画を作成し、市ホームページ等で放映。

5 変異株ゲノムサーベイランス体制

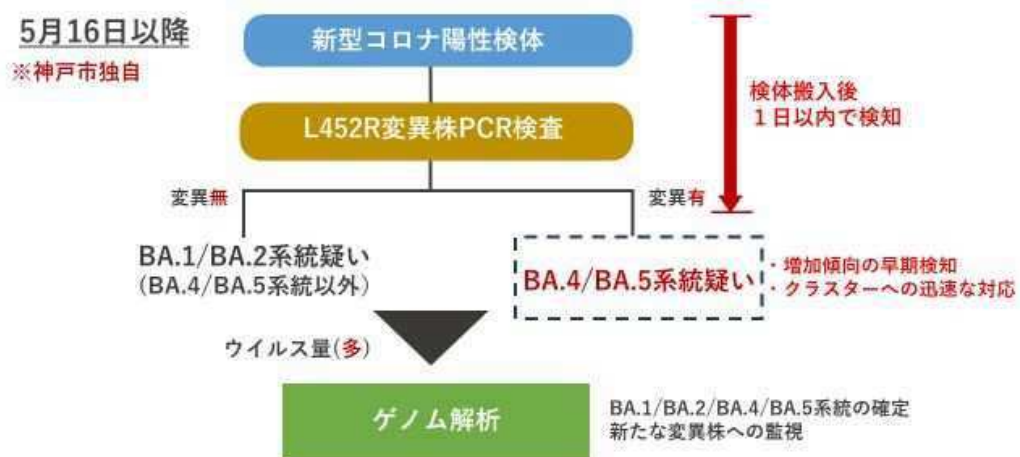
第6波では、感染力の強いオミクロン株により、感染が急拡大した。オミクロン株は複数の系統に分かれており、当初はBA.1系統が主流だったが、現在BA.2系統にほぼ置き換わった。今後、より感染力が強いと言われているBA.4系統やBA.5系統への置き換わりが進んだ場合、感染が再拡大する可能性があること懸念されていることから、神戸市健康科学研究所では、5月16日以降、独自にBA.4系統及びBA.5系統の疑いを早期検知できる変異株PCR検査を実施し、ゲノムサーベイランス体制を確保している。

市内では、6月16日に1例目、6月19日に2例目のBA.5系統の感染を確認した。また、6月17日にBA.2.12.1系統の1例目の感染を確認した。

※BA.5系統/BA.2.12.1系統について

BA.2系統に比べBA.5系統は12~13%、BA.2.12.1系統は25%程度の感染者増加の優位性が示唆されている。BA.5系統及びBA.2.12.1系統は、ワクチンと抗体医薬の効果を弱める可能性が示唆されているが、重症度については評価のために必要な情報が十分ではない。

(国立感染症研究所 感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルスの変異株について(第17報)より)



○L452R 変異株 PCR 検査の状況 (令和4年6月19日時点)

発生届出日	変異株 PCR 検査数	オミクロン株			
		BA. 1/BA. 2 系統疑い		BA. 4/BA. 5 系統疑い	
5/16-5/22	515	515	100%	0	0%
5/23-5/29	376	376	100%	0	0%
5/30-6/5	230	230	100%	0	0%
6/6-6/12	189	187	98.9%	2	1.1%
計	1,310	1,308	-	2	-

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

○ゲノム解析の状況 (令和4年6月19日時点)

発生届出日	ゲノム 確定件数	オミクロン株					
		BA. 1 系統		BA. 2 系統		BA. 5 系統	
1/10-1/30	1,274	1,260	98.9%	2	0.2%	0	0%
1/31-2/27	1,505	1,485	98.7%	17	1.1%	0	0%
2/28-3/27	807	621	77.0%	186	23.0%	0	0%
3/28-4/24	586	143	24.4%	443	75.6%	0	0%
4/25-5/29	1,151	34	3.0%	1,117	97.0%	0	0%
5/30-6/5	109	0	0%	109 [1]	100%	0	0%
6/6-6/12	25	0	0%	23	92.0%	2	8.0%
	5,457	3,543	-	1,874 [1]	-	2	-

※届出日から陽性検体回収にタイムラグがあるため、発表後も数値が変更されることがある。特に、直近1週間の届出日分について、次回発表時に数値が変動する可能性がある。

※BA. 2 系統の [] 内の数値は、BA. 2. 12. 1 系統を表す。

6 新型コロナワクチン接種

(1) 追加(4回目)接種の状況

令和4年6月1日から重症化予防を主な目的として、3回目のワクチン接種から5カ月が経過した「①60歳以上の方(努力義務あり)」及び「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方(努力義務なし)」に対して4回目の追加接種を開始した。

神戸市では、「①60歳以上の方」には手続き不要で順次接種券を発送するとともに、「②18歳以上で基礎疾患を有する方、その他重症化リスクが高いと医師が認める方」に対しては、接種券発行申請後すぐに使用できる「こうべE-mail接種券」を発行するなど、引き続き、接種を希望する市民が迅速に接種を受けられるよう接種体制を整えている。

※国は、医療従事者や高齢者施設等従事者等について、4回目接種の有効性に関する報告や諸外国の状況、新型コロナウイルス感染症の重症化の状況などを踏まえ、医療機関や高齢者施設等で従事していることのみをもって4回目接種の対象にはならないとしている。

なお、「4回目接種の対象者の範囲については、引き続き様々な情報を収集しながら検討を行っていく」としている。

(参考) 追加(3回目)接種の促進

3回目接種については、より接種を受けやすい接種機会を設けるとともに、2回目接種を完了した全ての方に対して接種を受けていただくよう呼びかけを行っている。

(追加(3回目)接種促進の取り組み)

- 企業、各種団体及び大学等教育施設向け団体接種の実施 (3/28 ~ 6/19)
4団体 (105名)
- 大学等へのキャンパス訪問型団体接種 (5/16 ~ 6/30)
5大学等 (約350名) (予定含む)
- 夜間接種 (18:00~21:00) の拡大 (1→2カ所) 5/17 ~ 6/30
約3,800名 (5/17~6/30の夜間接種での接種予約者数)
- ファイザー取り扱い集団接種会場の拡充 (1から7カ所) (5/17 ~ 6/30)
ファイザー会場の予約率 (約60%) (5/17~6/7の間)
(参考) モデルナ会場の予約率 (約33%) (5/17~6/7の間)
- こうべワクチンカーによる地域訪問接種 (6/8 ~ 7/8)
接種済者数 16名 (4カ所)
予約者数 20名 (6/16以降、9カ所)

(2) 接種体制

①個別接種医療機関（市内 831 か所）

（令和4年6月16日時点）

区	医療機関数	区	医療機関数
東灘区	136	長田区	44
灘区	92	須磨区	78
中央区	128	垂水区	99
兵庫区	56	西区	107
北区	91	合計	831

②集団接種会場（16 か所）

区	会場名	ワクチン (7/1(金)以降)	備考
東灘区	○東神戸センタービル WEST 棟 8 階	モデルナ	
	神戸ファッションプラザ 9 階	モデルナ	
灘区	○灘区文化センター 5 階	モデルナ	
中央区	○センタープラザ 9 階	モデルナ	
	市役所 1 号館 24 階	ファイザー	
	アリストンホテル神戸 2 階	モデルナ	
兵庫区	○兵庫区役所 2 階（みなとがわホール）	モデルナ	
北区	○北区文化センター（すずらんホール 2 階）	モデルナ	※2
	○エコール・リラショッピングセンター本館 5 階	モデルナ	
長田区	○長田区文化センター 3 階	モデルナ	
須磨区	○須磨区役所 4 階	モデルナ	
	須磨パティオ健康館 2 階	モデルナ	
垂水区	○レバンテ垂水 2 番館 4 階（旧垂水区文化センター）	モデルナ	※3
西区	○西神中央駅ビル 2 階北側	モデルナ	
	○JA 兵庫六甲西神文化センター 4 階	モデルナ	
	キャンパススクエア本館 2 階	モデルナ	

※1 「○」印の会場は、おまかせ予約を利用した場合に予約される会場。

※2 北区文化センター（すずらんホール 2 階）は、8 月 1 日に北区文化センター（本館）へ会場移転予定。

※3 レバンテ垂水 2 番館 4 階（旧垂水区文化センター）は、7 月 22 日に垂水年金会館へ会場移転予定。

※4 ノエビアスタジアム会場（大規模接種会場）は、6 月 19 日（日曜）で運営を終了。

③施設接種の促進

市内の高齢者施設・障害者施設等での接種について、迅速に完了できるよう支援する。

- ・ 接種実施にかかるマニュアルの提供

- ・ 利用者等の接種券の確保支援
- ・ 施設等からの個別相談対応
- ・ ワクチンの優先供給
- ・ 神戸市医師会と連携した接種医のあっせん（接種医を確保できない場合）

④訪問接種

寝たきり状態などにあり移動が難しい方など、医療機関や集団接種会場で接種を受けることが難しい方のご自宅に、医師や看護師などで構成された巡回接種チームを派遣。

○対象者

高齢者等で医療機関や大規模・集団接種会場に行くことができず、往診での接種もできない方とその介護者・同居者等

○申し込み方法

ケアマネジャー・障害者相談支援センターを通じて申し込みを受け付け

⑤配慮が必要な方のための接種会場

知的障害者（療育手帳所持者）、精神障害者（精神障害者保健福祉手帳1級所持者）の方等で、集団接種会場等で新型コロナワクチンを接種することが難しい方やその介助者のための接種会場を設置。

○対象者

「療育手帳」または「精神障害者保健福祉手帳1級」を持っている方等で、かかりつけ医や集団接種会場での接種が困難な方

○申し込み方法

専用予約電話（078-277-3327）で予約を受け付け

○開設場所・日時

神戸市役所1号館24階（中央区加納町6丁目5-1）

日程：毎週木曜日（13：30～16：30）

⑥小児接種

令和4年3月から、個別接種医療機関において小児（5歳から11歳）への新型コロナワクチン接種を実施。（市内165か所）（令和4年6月15日現在）

	接種済み者数	接種対象人口比
1回目接種実績	7,148人	8.3%
2回目接種実績	6,608人	7.6%

（3）接種実績

（令和4年6月15日現在）

		接種済み者数	神戸市人口比	接種対象人口比
2回目接種実績（5歳以上）		1,180,215	78%	81%
3回目接種実績（12歳以上）		836,205	55%	71%
4回目接種実績	（60歳以上）	361	0.02%	0.08%
	（18歳以上60歳未満）※	10		—

※18 歳以上 60 歳未満の 4 回目接種の対象は、基礎疾患を有する方等に限る。

7 マスクの着用、熱中症対策について

(1) マスクの着用についての考え方

国の新型コロナウイルス感染症基本対処方針（5月23日更新）にてマスクの着用について改めて考え方が示されたことから、関係機関等に周知を行っている。

- 「屋内・屋外」、「身体的距離」、「会話」の3点から基本的なマスク着用の考え方を示しており、
 - ・屋内では、原則マスク着用を推奨するが、2メートルの身体的距離を確保し会話をほとんど行わない場合は、マスク着用の必要はなし。
 - ・屋外においては、原則マスクを着用する必要はないが、2メートルの距離を確保できず会話をする場合にはマスクの着用を推奨。

○就学前のこどもについて

- ① 2歳未満のこどもには、引き続き、マスクの着用は推奨しない。
- ② 2歳以上就学前のこどもには、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。

※濃厚接触者についてはこれまで通り、マスクなしで15分以上、1m以内で接触した方を対象とする。

(参考) 国のマスク着用の考え方

【屋外】

	2 m以上の距離が確保できる	2 m以上の距離が確保できない
会話をする	<u>マスク必要なし</u>	マスク着用推奨
会話をほとんど行わない	<u>マスク必要なし</u>	<u>マスク必要なし</u>

【屋内】

	2 m以上の距離が確保できる	2 m以上の距離が確保できない
会話をする	マスク着用推奨 ※十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可	マスク着用推奨
会話をほとんど行わない	<u>マスク必要なし</u>	マスク着用推奨

(2) 熱中症対策

夏場は、熱中症防止の観点から、マスクの必要のない場面ではマスクを外すことを推奨しており、「神戸市熱中症予防対応指針」について、以下の通り周知を図っている。

- 3密（密集・密接・密閉）な場所では、マスクの着用が必要であるが、人と十分な距離（2 m 以上）が保てる時には、マスクを外すこと。

○就学前児童のマスク着用について

- ・ 2歳未満：マスク着用は奨めない。
- ・ 2歳以上：個々の発達の状況や体調等を踏まえる必要があることから、他者との身体的距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めない。

熱中症対策については、市ホームページや広報紙、花時計ギャラリー、ラジオ関西での放送、教育委員会による保護者向け連絡ツール（すぐーる）による啓発を行っている。

今後、マスク着用の注意点を内容にいったチラシの配布や、ポスター、デジタルサイネージ、広報紙、のぼりなどによる啓発を実施予定。その他、サンテレビ「KOBE 元気いきいき体操」での放送や、企業と連携した三宮駅前での啓発イベントなども企画している。